

市政モニターアンケート結果(速報)

■ 概要

市政の重要な課題や市民生活に関係の深い問題などに関して、市民意識を迅速に把握し、市政の効率的かつ合理的な運営に役立てるため、アンケート調査により実施するモニター制度

■ 調査方法

調査対象	市内在住、在勤、在学の18歳以上
調査数	494人（1071人の応募者から区域・性別・年齢などを考慮したうえ抽選）
調査方法	インターネット回答 356人、郵送回答 138人
調査期間	平成29年9月中旬～下旬

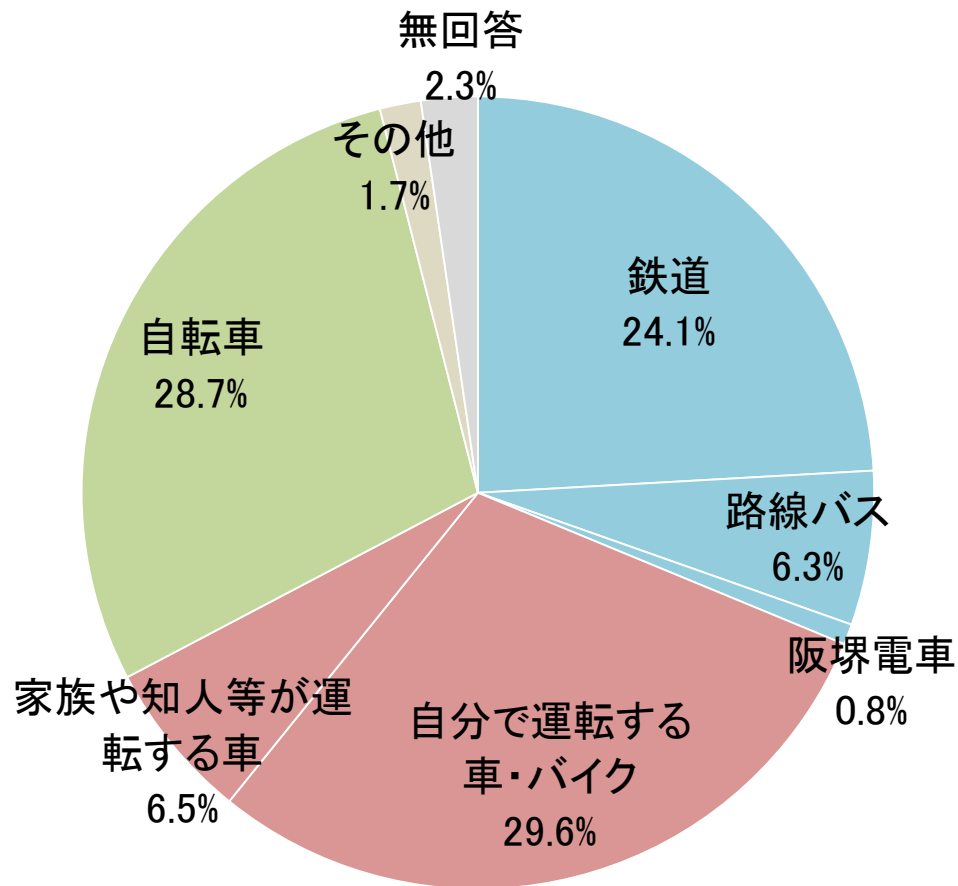
■ 回収結果

有効回収数	477票
回収率	96.6%

■ 調査項目

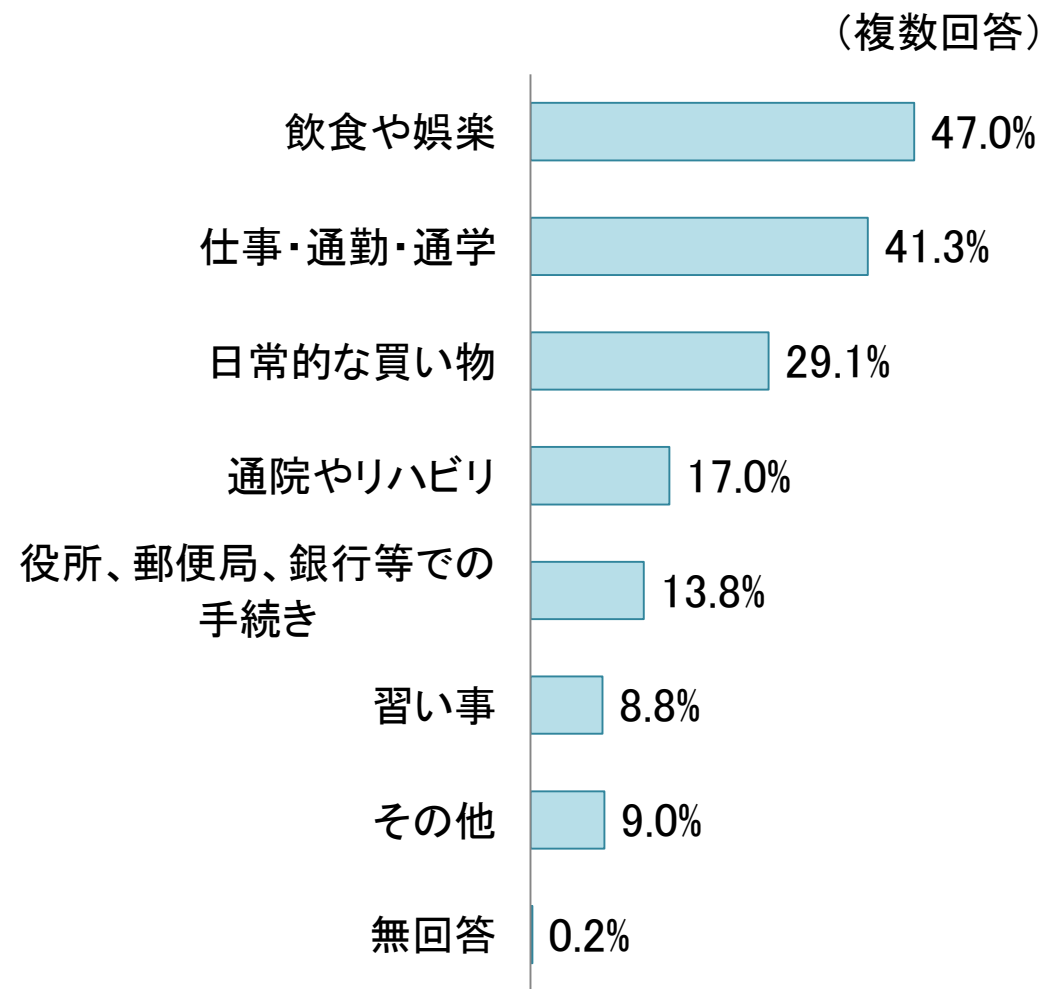
公共交通の利用状況
 路線バスへの公費負担に対する意識
 市の施策（おでかけ応援バスや乗合タクシー等）に対する認知度や理解度 など

■ 主な移動手段



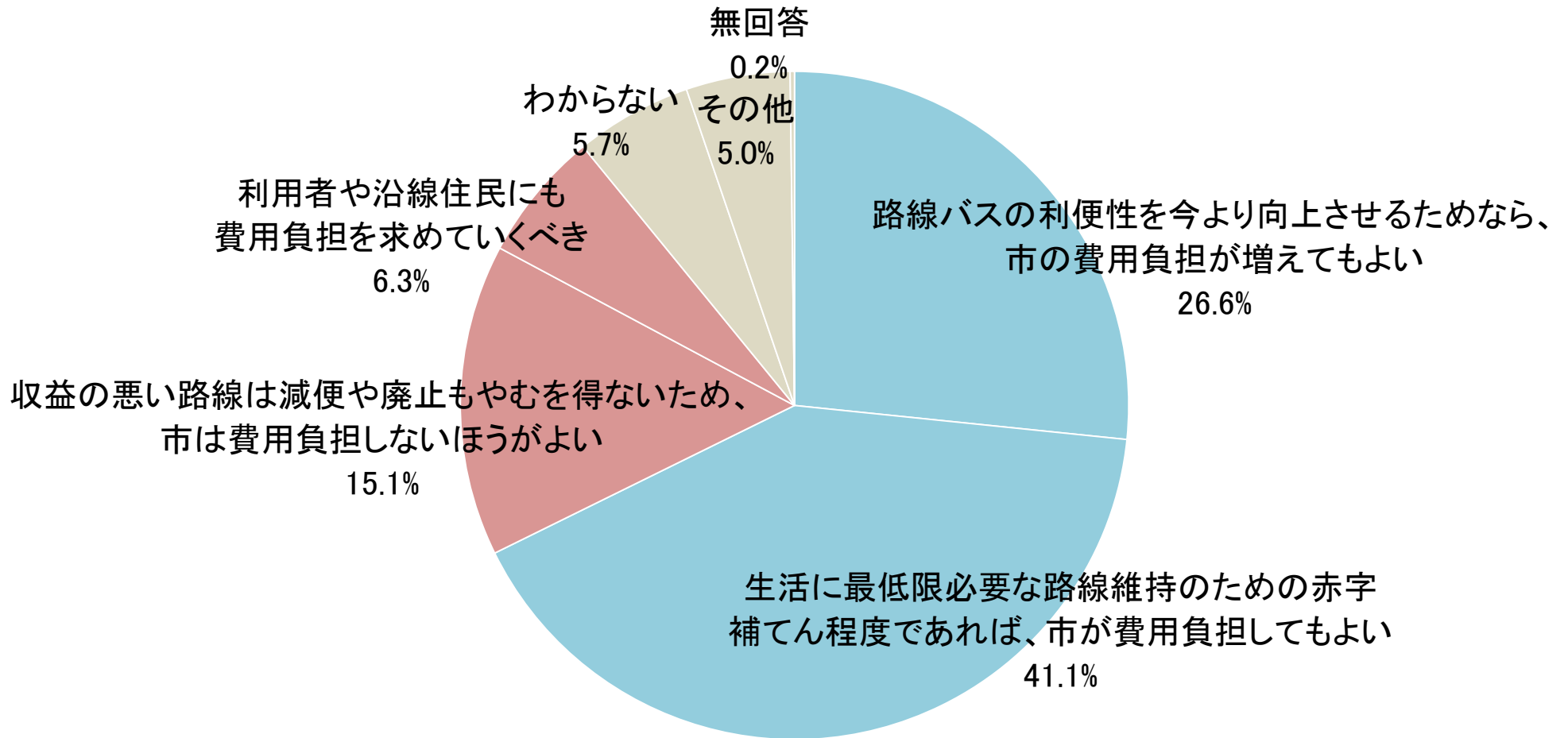
約3割の方が公共交通と回答している一方、6割以上の方が公共交通以外と回答しており、継続的な公共交通の利用促進が必要

■ 公共交通の利用目的



「飲食や娯楽」が47.0%と最も多く、次いで「仕事・通勤・通学」が41.3%、「日常的な買い物」が29.1%となっている

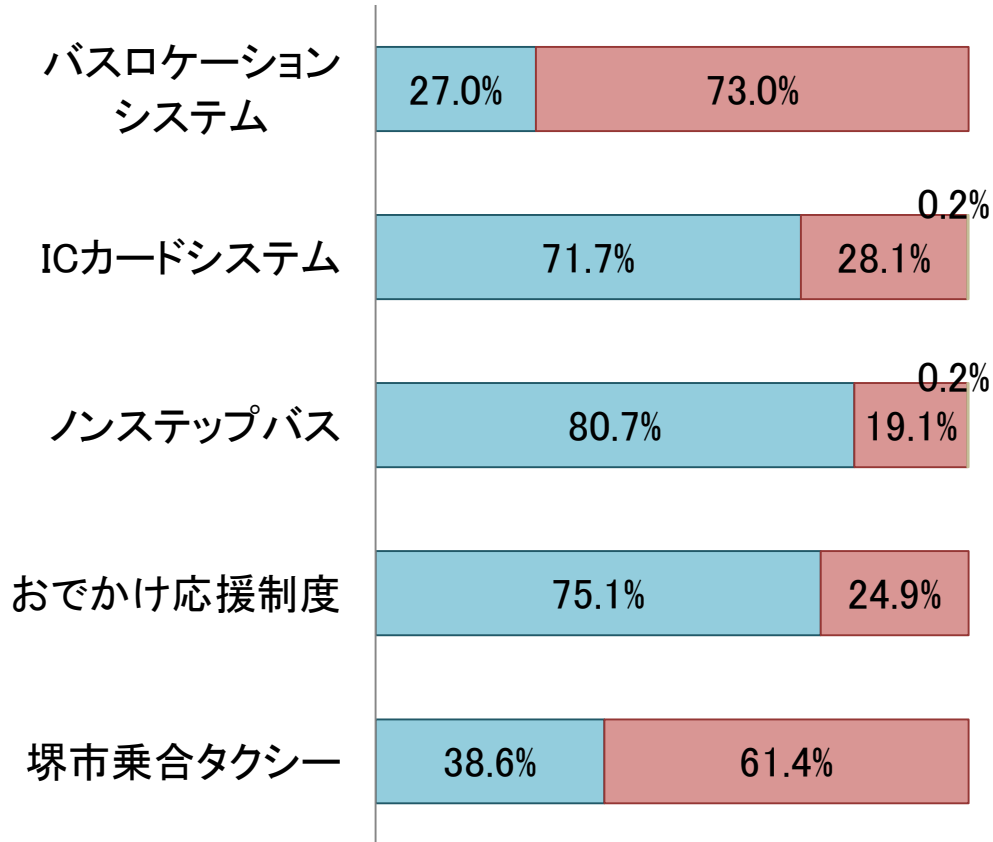
■ 路線バスへの公費負担に対する意識



約7割の方が公費負担に肯定的である一方、約2割の方が公費負担に否定的である

■ 公共交通施策の認知度

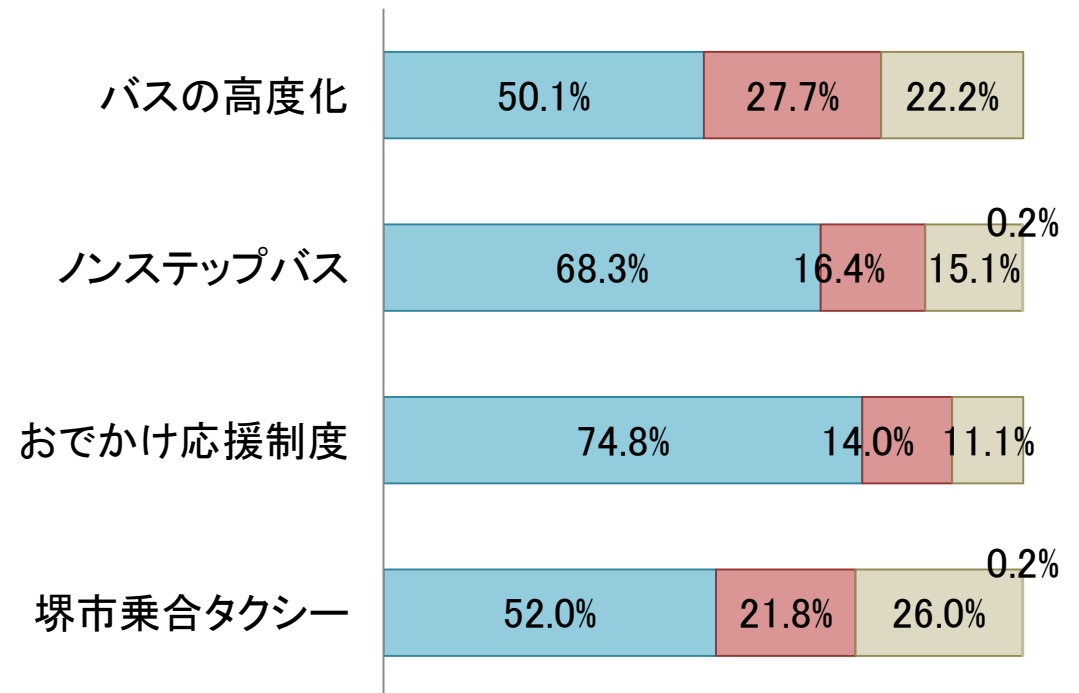
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答



バスロケーションシステムについては約7割、堺市乗合タクシーについては約6割が「知らない」と回答しており、さらなる広報が必要

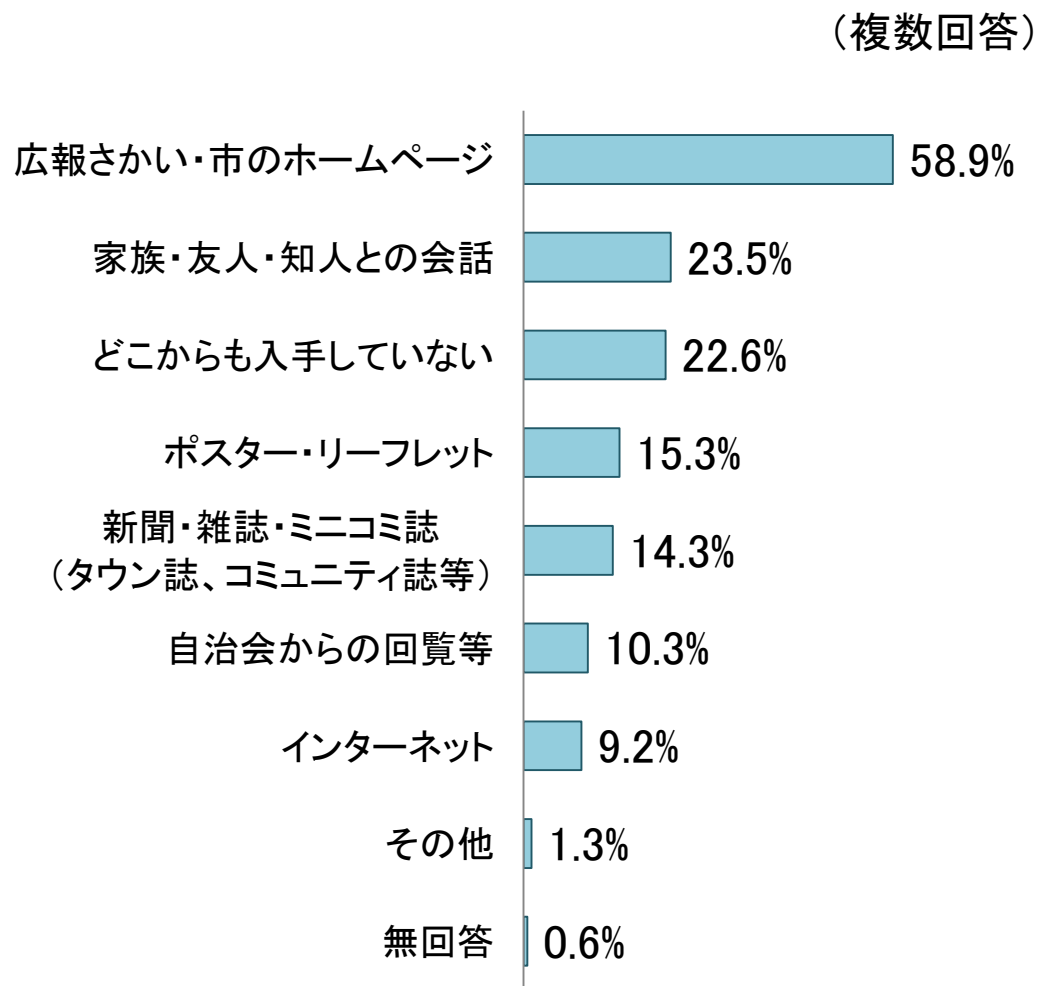
■ 公共交通施策への公費負担の理解度

■ 必要だと思う ■ 必要ないと思う ■ わからない ■ 無回答



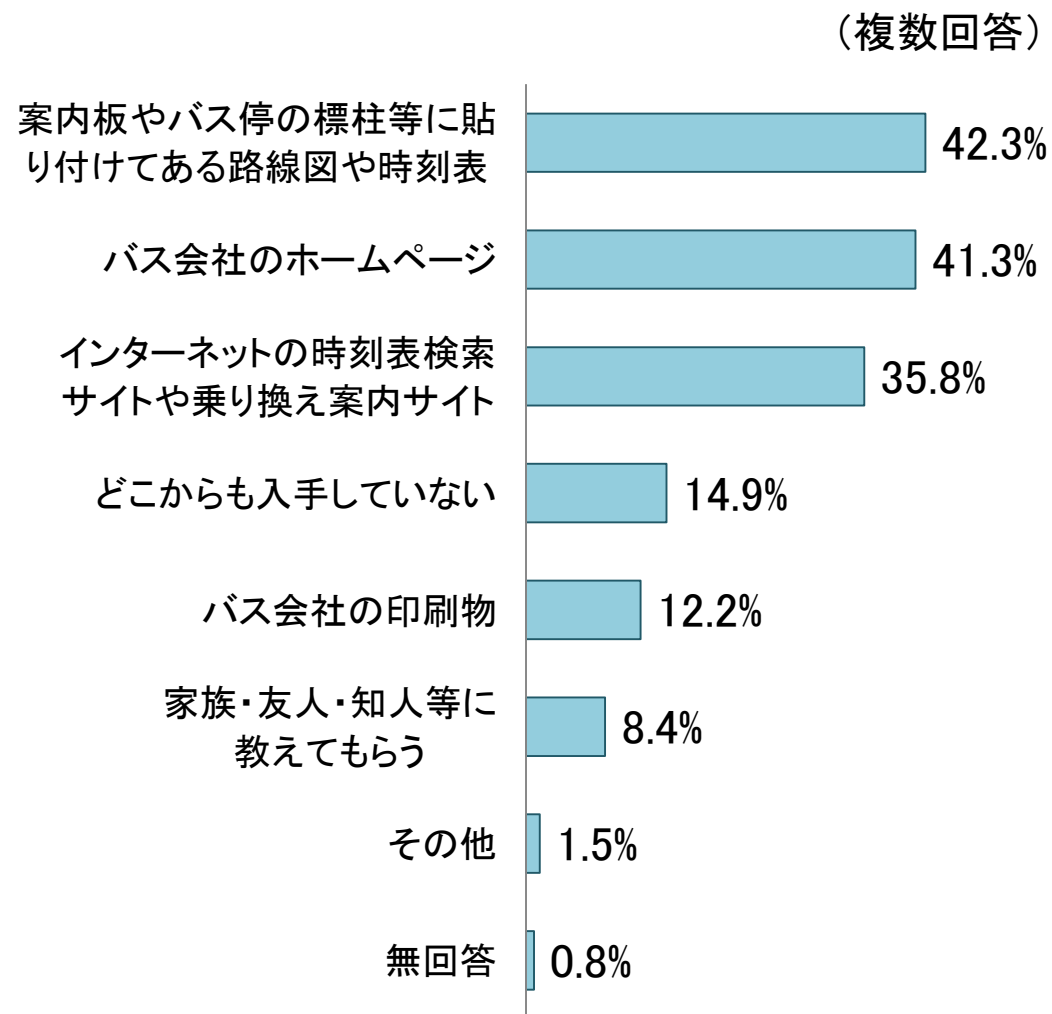
ノンストップバスとおでかけ応援制度については約7割、バスの高度化と堺市乗合タクシーについては約半数の方が公費負担に理解を示している

■ 公共交通施策の認知経路



約6割の方が広報さかい・市のホームページから情報入手しており、広報手段として有効であることがうかがえる

■ バス運行情報の認知経路



案内板や標柱等の現地案内と並んで、バス会社のホームページや検索・案内サイト等のインターネット上から情報入手している人も多い